



県大1期生の皆さん、御卒業おめでとうございます。
新しい旅立ちに、心はずませていること
と思ひます。

皆さんは、今後は卒業生となるわけですが、卒業生が集う同窓会は、福岡県社会保育短期大学同窓会と一本化し、福岡県立大学同窓会として活動することとなりました。(一本化に関しては、県大4年生と社保短同窓会のそれぞれの代表が2月22日集まり、合意しました)しかし、同窓会といっても、今まで現役の学生だった皆さんには、ピンとこないかもしれません。そこで、同窓会の活動内容や状況・規約について、Q&A方式で簡単に説明したいと思います。なお、規約を次ページに記載しています。

Q: 同窓会の活動とはどのようなものですか。

A: 同窓会では、次の事業を行うことが会則第4条に規定されています。

- 1、会誌及び会員名簿の編集発行
- 2、会員の親睦事業
- 3、大学の発展に関する協力
- 4、会員及び新卒者の就職援助
- 5、その他目的達成に必要な事項

(それぞれの事業内容は)

1、同窓会名簿の作成(5年~10年に1回発行)

- ① 同窓会会員の氏名、住所、職場等の連絡先をまとめた名簿を作成しています。卒業後氏名・住所等連絡先が変更する機会が多いので、変更先をできるだけ把握し、訂正した名簿を作成しています。
- ② 同窓会名簿は、同窓会会員の連絡先の把握・連絡や在校生の就職にあたっての参考資料として、実習先や職場開拓・先輩訪問等に利用されています。

2、同窓会総会(2年に1回開催)

- ① 同窓会総会は最高決議機関で、2年間に1回開催され、2年間の事業内容や決算の報告及び事業計画や予算案、役員改正等を行うものです。
- ② 同窓会総会当日に、会員の研修・親睦のために記念講演や懇親会を行ってきました。
 - ・記念講演は、会員が関心のある事項をテーマに、県内の関係者に講演をお願いしています。
 - ・懇親会は会員の親睦をはかるために行っています。

- ③ 同窓会当日、同期会(同年に入学・卒業したクラスの集まり)を行うクラスもあります。
- ④ 同窓会総会・講演・懇親会の内容の検討及び準備は、担当幹事期(輪番制)を中心に行っています。

3、大学の発展に関する協力

- ① 4年制大学移行問題が本格化しはじめた時期に、短大卒業生会員の願いでもあった4年制化実現にむけて、同窓会としても協力するとともに、当時の奥田八二福岡県知事にたいして「4年制大学移行への早期実現にむけての要望書」を提出しました。(1989.8.20)
- ② 社会保育短期大学閉学式、福岡県立大学開学式等には同窓会三役は出席しました。
- ③ 福岡県立大学の事業である中国南京師範大学との学術友好提携(1994.11)にあたっては、大学後援会とともに講演会の共催をしました。

4、会員及び学生の就職援助

短大時代、就職にあたっては、卒業生から職場の求人情報を提供してもらうことがありました。県立保母養成所卒業生の中には、保育所所長・幼稚園園長等がおられ、また、社会福祉施設や病院等で働く卒業生から、是非、自分の働く職場に同じ学校を卒業した優秀な後輩にきてほしい。一緒に考え・ともに働く後輩を期待しています。すでに保母養成所卒業生・社保短卒業生は県大生を先輩と考え、就職活動には協力していきたいと考えています。現在、同窓会として取り組んでいることは、

- ① 求人情報の提供—同窓会総会にあたって、会員全員に送付する「同窓会総会案内状」に求人情報の提供を呼びかけました。
- ② 就職ガイダンス—卒業生として協力できる分野—公務員、社会福祉(保育を含む)、幼児教育関係の就職にあたっての職場の状況、求人情報を提供、具体的には、「就職ガイダンス—社保短卒業生からのアドバイス—」を4回にわたって、大学と共催で実施しました。(1995.6.6-7.5)
 - * 今年度の県大生の求人いくつかは同窓会会員より寄せられたものがありました。今後は、卒業する皆さんからの情報が大切になります。

5、その他

1993年度には、卒業生や県大生で実行委員会を組織し、社保短から県大移行記念事業の“広げようつながりの輪”を実施しました。同窓会としてその実施にあたり後援しました。

Q: 同窓会の運営はどのように行っているのですか。

- A: ① 同窓会総会—最高決議機関です。
- ② 幹事会—総会ではかる事業計画・内容の案を計ります。幹事会は各期各科から選出された(1名~3名)幹事と会長・副会長・事務局員で構成します。幹事会は年に1~2回程度開かれます。
 - ③ 事務・会計は事務局がおこないます。同窓会の部屋或いは同窓会事務局室が現在ないので、学内に同窓会室を設置いただくよう、大学に要望中です。

Q: 会費や入会金はどうなるのですか。

- A: 同窓会の運営は、原則的には入会金や会費でまかなわれます。
- ・入会金は10,000円です。但し、皆さんは経過措置で免除にしました。(1997年度入学者より入学時に徴収を始める予定で、それ以前の県大入学者は免除です)
 - ・年会費は1,500円で、卒業後、2年に1度開催される同窓会総会の案内状とともに振込用紙を送付し、2年分の年会費を徴収することにしています。皆さんの場合は、1997年が総会の年です。その時、3,000円を振り込んでください。
- * 年会費を2年分で3,000円にしたのは、通信費、会報費用、総会会場代、事務局バイト代及び名簿作成費用等で、多額の財源が必要だからです。同窓会が活発に活動するため、皆さんのご協力をお願いします。

Q: 今後の行事予定はどのようになっているのでしょうか。

A: 同窓会総会を1997年8月か9月に予定しています。7月頃、会員全員に案内状を出す予定です。(その時、2年分の年会費振込用紙を同封します。)

Q: 現在の同窓会の課題は何でしょうか。

- A: 1、同窓会室設置—学生に就職情報が提供できるよう、また、同窓会事業の活性化・事務局体制の確立のため、同窓会室設置の要望を大学にしています。現在検討中との回答を得ています。引き続き要望していきます。
- 2、新同窓会会員名簿作成のための準備および会員の把握のため、住所・職場等の連絡先の把握に努めています。県大1期生の皆さんにもご協力をお願いしたいと思います。

Q: 現在の同窓会会員は何人ですか。

A: 県大の前身の県立保母養成所(1-15期)卒業生752人、社会保育短期大学(保育科・社会福祉科1-25期)卒業生2642人、それに、県大1期生が卒業し147人が加わると、会員数は3541人になります。